

江戸時代の美人画を元に、当時の生活様式を読み解く

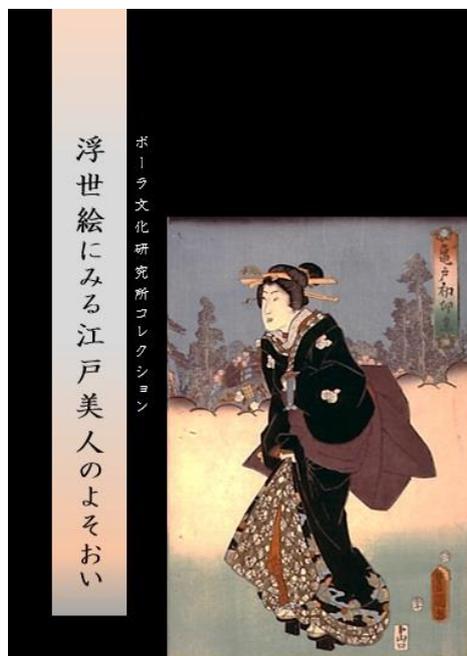
「浮世絵にみる江戸美人のよそおい」

2017年1月27日(金)ポーラ文化研究所より発行

ポーラ・オルビスグループで化粧に関する研究活動を行うポーラ文化研究所(所在地:東京都品川区)は、「ポーラ文化研究所コレクション 浮世絵にみる江戸美人のよそおい」(本体3,300円+税)を2017年1月27日(金)に発売します。

研究所では、創立以来40年にわたり、江戸時代の化粧風俗を色々な角度で描いている浮世絵版画を調査研究の一環として収集しています。本書は、研究所が所持する貴重な浮世絵コレクションの中から、江戸時代の美人画を中心に編集しており、当時の女性たちの化粧や髪型、衣装を中心に、職業や身分の違い、生活の様子などを読み取ることができます。

江戸美人の化粧・髪形・衣装に関して、当時の生活様式まで詳しく解説



本書は、江戸時代の浮世絵を用いて、当時の化粧、髪型および衣装に関して解説しております。国芳、国貞、英泉が描いた美人をはじめとして、江戸名所百人美女、そして遊女・花嫁の装いなど、計77点の浮世絵作品が含まれています。

◇書名:「ポーラ文化研究所コレクション
浮世絵にみる江戸美人のよそおい」

◇発行:ポーラ文化研究所

◇編集:ポーラ文化研究所

◇発売日:2017年1月27日(金)

◇定価:本体3,300円+税

◇購入方法:一般書店および、ポーラ文化研究所直販

※本書のDVD BOOK『ポーラ文化研究所コレクション 浮世絵にみる江戸美人のよそおい』も、好評発売中

(一般書店および、ポーラ文化研究所直販)

40年の歴史を誇るポーラ文化研究所

ポーラ文化研究所は1976年の設立以来、美しさに関わる研究、なかでも「化粧文化」について人文・社会学など様々な角度から探究してきました。

日本・欧米・アジア・アフリカなどグローバルな視点で調査研究に取り組み、その成果は、出版物、調査レポート、セミナー、展示と広く情報発信しています。世界中から収集してきた資料性の高い化粧道具・装身具類は6,500点、希少な古書を含む東西文献は15,000冊を数えます。

また、ポーラ文化研究所内にある化粧文化情報センターでは、これら文化資産の展示、検索、閲覧とそれに関するサービスを行っています。毎週水曜日は、化粧文化に関する資料を無料で一般公開しています。

ポーラ文化研究所 HP リンク <http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/>

【報道関係のお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
TEL 03-3563-5540/FAX 03-3563-5543

【お客さまからのお問い合わせ先】ポーラ文化研究所
TEL 03-3494-7250/FAX 03-3494-7294